

「宇宙138億年の歴史 のなかで、 現代という時代を考える」

2018年
11月13日(火)
18時30分 - 20時30分
京都大学総合生存学館2階大講義室

講演者
原島博 (東京大学名誉教授)

ディスカッション予定
山極壽一 (京都大学総長)
山敷庸亮 (京都大学大学院総合生存学館教授)

司会
土佐尚子 (京都大学大学院総合生存学館特定教授)

対象：どなたでも参加できます
参加費：無料
定員：100名 (申し込みによる先着順)
お申し込み：<https://goo.gl/forms/bAtrncOPlorYpRdCs2>
※お名前、ご所属、連絡先 e-mail、電話番号を記入してお申し込みください。

問い合わせ先
京都大学大学院総合生存学館土佐研究室
request-kyodaiart@media.kyoto-u.ac.jp
電話 075-753-9088 (平日 午前 10:00 - 午後 5:00)

主催
京都大学 大学院 総合生存学館 (思修館)

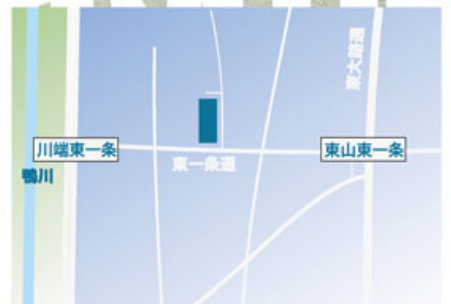
長い歴史と文化を持つ京都は、同時に常に最先端の動きを取り入れてきた町でもあります。アートはその伝統とモダンをつなぎ、新しい動きを創る力を持っています。いま京都大学はアートの発想を取り入れて、新しく生まれ変わろうとしています。八思をコンセプトにしている京都大学総合生存学館では、近年、世界を読み解く私塾HC塾を展開しております。原島博先生(東京大学名誉教授)をお招きして、これからの時代を担うグローバル人財育成を考えます。宇宙誕生から始まって、生物進化、人類進化、農耕開始以来の世界史、そして近代の科学技術を俯瞰して、現代という時代を考える。講演後、山極総長を交えて、ディスカッションも予定しています。



原島博 (東京大学名誉教授)

1945年終戦の年に東京で生まれ、東京大学では工学部電子情報工学科と大学院情報学環に所属。コミュニケーション工学を専門として、人との間のコミュニケーションを、リアルとバーチャルの両側面から技術的にサポートする。1995年に「日本顔学会」を発起人代表として設立、「顔学」の構築と体系化に尽力。近年では、文化庁メディア芸術祭審査委員長・アート部門審査員、グッドデザイン賞(Gマーク)審査員などもつとめる。

HP:<http://harashima-lab.jp/>



京都大学 大学院 総合生存学館
思修館